



発行
 県議会議員
 扶川 敦
 徳島県板野郡
 板野町犬伏字
 大坪 78-1
 Tel. 672-5875
 2006/1/25

お気軽に
 ご相談
 ください

住民の安全に不安はないのか

陸上自衛隊飛行隊ヘリコプターの松茂配備問題を考える



米軍ヘリが墜落・炎上し、騒然となる墜落現場＝13日午後3時10分、沖縄県宜野湾市
 「しんぶん赤旗」 2004年8月14日付より



住民にとって飛行機の基地が及ぼす日常的な影響といえば、やはり騒音です。しかし、松茂の海上自衛隊基地への陸上自衛隊飛行隊配備は、「うるさい」だけでは済まず、住民の安全にかかわります。陸自が強調している災害対応の問題ともあわせて考えてみました。

在日米軍でも自衛隊でも、ヘリの事故は絶えない。

松茂の海上自衛隊（リコプター）です。7基地には、固定翼の訓練機のヘリのうち、4機が多用途ヘリのUH1ですが、今回陸上自衛隊で、3機が小型観測ヘリが配備しようとしているのは、回転翼機（ヘリ）のOH6です。

最近の軍用ヘリの事故では、沖縄の米軍普天間基地に所属するCH53Dヘリが、2004年8月、基地に隣接する沖縄国際大学構内に墜落炎上して大問題になりました。幸い犠牲者はなかったものの、一つ間違えば大惨事でした。一部校舎は黒こげになり、建て直した。この危険が確実に増えることです。

余儀なくされました。沖縄タイムズが2004年9月5日付で報じた記事によると、普天間基地の各種ヘリは、1972年の沖縄返還後だけでも、国際大学への墜落を含め17回も墜落事故を起こしています。

も、全国で起こっている。昨年11月21日には、伊勢市にある陸自航空学校の観測ヘリOH6がため池に不時着して水没する事故がありました。これは今回松茂にやってくるものと同型です。

同基地には、今回松茂へ配備されるのと同型のUH1も7機あり、墜落3件、不時着5件、緊急着陸2件、落下事故2件の事故を起こしています。

自対戦車ヘリ同士が、鳥羽市上空で衝突墜落し、死者が出ました。事故の多い軍用機。松茂で重大事故が起らない保証はどこにもありません。

配備の主な目的は、本当に災害対応なのか？

次に陸自飛行隊配備の目的です。2005年12月21日開かれた松茂町議会の全員協議会で、起立採決により17対1で陸自航空隊配備が了承されました。

「中期防衛力整備計画」は、平成16年12月に閣議決定された「防衛計画の大綱」に従っています。

町議の大半が反対している。この全員協議会で防衛庁が配った資料は、「四国に飛行隊を配備する必要性」の第一に、「災害派遣などへの迅速な対応の観点」をあげている。

同「大綱」は、米ソ対決の時代が終わった現在、「我が国に対する本格的な侵略事態生起の可能性は低下」し



現行の陸上自衛隊中部方面隊配置図
陸上自衛隊HPより



松茂に配備予定のUH1と同型機
陸上自衛隊HPより

ている一方、「国際テロ組織などの非国家的主体が重大な脅威になつている」と指摘しています。

この情勢認識の下「中期防」は、陸上自衛隊について「戦車及び主要な特科装備の縮減をはかりつつ、即応性、機動性などをいっ

そう向上させるために、5個の師団、1個の旅団および2個の混成団について改編を実施し、このうち1個の師団及び2個の混成団は、旅団に改編する」「ゲリラや特殊部隊による攻撃等に対処しう

るよう：普通科部隊の

強化を行うほか、引き続き軽装甲機動車、多用途ヘリコプター(UH60JA、UH1J)、戦闘ヘリコプター(AH64D)を整備する」等の方針を打ち出しているのです。

師団や旅団には、飛行隊が必須です。四国に新たに飛行隊を配備する主な目的は、ここに

にあります。災害対応は副次的です。

憲法九条改悪で、自衛隊が海外で戦う軍隊になる危険

それでも、自衛隊が

侵略から国を守るためなら、事故の不安はがまんするという人も多いでしょう。しかし自衛隊が、そうした「専守防衛」の枠を踏み越えようとしているところに、大きな問題があります。

「防衛計画の大綱」は、「唯一の超大国である米国」が「テロとの闘いや大量破壊兵器の拡散防止等の課題に積極的に対処するなど引き続き世界の平和と安定に大きな役割を果たしている」と述べています。

このようにイラク戦争も含めた米軍の活

動を手放して評価した上で、今後の日本の防衛力は、「国際社会が協力しておこなう活動に主体的かつ積極的に取り組み得るものとする」とし、米国がこなう戦争に海外で一層協力していく姿勢を明確にしているのです。

いま憲法9条を改正して自衛隊を軍隊として認知し、海外で武力行使できる仕組みを作る動きが、自民党・民主

党などによりすすめられていきます。

憲法第9条の歯止め

がなくなれば、自衛隊が米軍といっしょに戦

に展開させる戦法)の外に送られることはな

主役でした。ドア開口部から機関銃を発射する姿は、よく映画などにも登場しました。

陸自UH1ヘリはすでにパキスタンの地震救援活動に海外派遣されています。今後、災害のみならず戦争のために、松茂の隊員が海

松茂の災害に役立つのか？

もうひとつの疑問は、自衛隊ヘリ部隊が災害出動で活躍するのは、山林火災や孤立集

落の救援などであつて、基地直近の松茂町民にとつてどれだけのメリットがあるのかという疑問です。

阪神・淡路の大震災のとき、家屋などの下敷きになり自力で脱出

できなかった人が3.5万人あつたが、そのうち8割近くの2.

7万人は家族や近所の住民に救助され、生存

率も80%あつたのたいし、消防・警察・

わざへりを飛ばす必要があるでしょうか。過大な期待は禁物です。

最後に

世界一強力な軍隊を持ち、海外まで軍隊を展開している米国が

最大のテロの攻撃を受け、イラクではすでに2200人をこえる米兵が亡くなりました。軍事力は、本当にその国民を守るのでしょうか。

平和憲法を持つ日本の国際貢献は、米軍といっしょに戦闘に参加することではなく、外交努力で戦争を防ぎ、憲法の精神を世界に広げていくことだと私は

思います。

扶川の敦ホームページを開設しています。ぜひお立ち寄り下さい。「県政みたまま」バックナンバーもあります。
<http://hb7.seikyoku.ne.jp/home/Atusi.Fukawa/index.htm>